

沿岸広域振興局における伐木技術普及研修の実施について

1 はじめに

令和5年度の県内における標記研修は、県南と沿岸の両広域振興局で実施することになり、先に県南広域振興局林務部から報告がありました。(令和5年11月16日付け林業普及現地情報2023-09号)

当部では、令和5年9月29日(金)に釜石地方森林組合の間伐事業地(釜石市)で実施しました。講師は近隣の岩手県伐木技術指導員3名で、参加者は当振興局管内の林業経営体等の林業従事者6名と見学者1名でした。

2 研修前半(目立てと伐木技術)

研修の前半は、講師と相談した結果、参加者から研修希望を聞き、チェーンソーの目立てと、伐木技術の班に分かれて研修を行いました。

チェーンソーの目立ての班では、講師が見本を示した後、参加者が各々持参したチェーンソーで目立てを行いました。伐木技術の班では、アイパッドや模型などを使い、参加者に分かりやすく、工夫を凝らした研修となりました。

3 研修後半(伐木実習)

研修の後半は、事前に参加者に記載していたアンケートから、経験年数により、初

級者と中・上級者に分け、伐木実習を行いました。

初級者は、胸高直径20cm程度の保育間伐箇所を実習を行いました。最初に講師の指導を受けながら、参加者は一人1本ずつ伐倒し、次に一人で伐倒を行いました。

中・上級者は、胸高直径30~40cm程度の搬出間伐箇所を実習を行いました。講師が見守る中、一人2本ずつ伐倒し、伐倒後に講師から指導を受けました。搬出間伐で作業道に向けて伐倒するため、かかり木になった場合は、その外し方についても研修を受けました。

研修の振り返りでは、参加者から、「自分のクセを認識できた」、「仕事に生かしていきたい」など、好意的な意見が多くありました。

4 集団指導会

令和5年12月11日(月)、岩手文化センター(滝沢市)で開催された、「伐木作業時における労働災害防止のための特別活動」に基づく労働災害防止のための集団指導会において、当該研修の実施状況について報告し、当県の林業労働災害防止の取組を普及しました。



伐木技術に関する研修の様子



伐木実習の様子(初級者)